

平成29年度（第38回）四国高等学校ゴルフ選手権決勝大会
平成29年度（第38回）四国中学校ゴルフ選手権決勝大会
平成29年度 四国中学校ゴルフ研修競技会

＜主催＞四国高等学校ゴルフ連盟
毎日新聞社
スポーツニッポン新聞社

開催日 平成29年12月26日（火）、27日（水）
開催コース グリーンフィールドゴルフ倶楽部
TEL 0889-24-7711

＜競技の条件＞

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. クラブと球の規格
 - (a) 『適合ドライバークラウドリストの条件・規則付 I (B) 1 a』を適用する。
 - (b) 『2010年1月1日施行の溝とパンチマークの規格に適合するクラブの使用を求める競技の条件』（裁定 4-1/1）を適用する。
 - (c) 『公認球リストの条件・規則付 I (B) 1 b』を適用する。
4. 競技終了時点
本選手権競技は、競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
5. ホールとホールの間での練習禁止
『ゴルフ規則付 I (B) 5 b』を適用する。
6. プレーの中断と再開
 - (1) プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、ゴルフ規則6-8b、c、d に従って処置すること。
 - (2) 険悪な気象状態にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまで、プレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格（ゴルフ規則6-8b 注）
 - (3) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返して通報する。
険悪な気象状況による即時中断：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
7. 移動
正規のラウンド中の移動について「ゴルフ規則付 I (B) 8」を適用する。
8. キャディー
正規のラウンド中、競技者のキャディー使用を禁止する。
10. 競技の短縮
コースの状態が適正なるプレー不可能と判断したときは、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる。
11. 使用ティー
本競技のティーマークは高校男子が黒マーク、中学男子は青マーク、高校女子、中学女子は白マークとする。

<ローカルルール>

1. アウトオブバウンズ（OB）の境界は、白杭または白線をもって標示する。
2. 隣接するホール相互間の白緑杭はこの競技には適用しない。
3. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
4. ウォーターハザードは黄杭（黄線）を、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭（赤線）をもってその限界を標示する。なお、線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
5. コース内の排水溝、フェアウェイおよびグリーンに近接するヤードを標示する基点は動かさない障害物とする。
6. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
7. グリーン周りにおいて、固定スプリンクラーヘッドがグリーンおよび球のいずれからも2クラブレンジスの範囲内にあり、しかも球とホールを結ぶプレーの線上にある場合は罰なしにホールに近づかず障害をさけ、ハザード内でもグリーン上でもない場所で元の位置にできるだけ近い箇所にドロップすることができる。拾い上げた球は拭くことができる。このローカルルールの違反の罰は2打。
8. 3番、17番ホールグリーン右白線内のカート道路上に球がある場合、またはそのカート道路がプレーヤーのスタンスの妨げになる場合には、グリーン右手前のドロップ区域（緑線内）から無罰でプレーすることができる。
9. 人工の段積みバンカーはコースと不可分の部分とする。
10. スルーザグリーンで、地面に球がくい込んでいるときは、その球は罰なしに拾い上げてふき、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた箇所にできるだけ近い所にドロップすることができる。ドロップの際、球はスルーザグリーンのコース上に直接落ちなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2打。
11. プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーやキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーは規則18-2、20-1に規定されている通りにリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注：パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースされることになる。

<注意事項>

1. 各部とも、所定のホールが終わり、1位がタイの場合は、即日委員会の指定するホールにおいてホールバイホールによるプレーオフを行い優勝者を決定する。なお、3人以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外の競技者は2位タイとする。なお、中学研修会において1位がタイの場合はマッチングスコアカード方式により順位を決定する。
2. ローカルルールに追加・変更のあるときは、別に掲示する。
3. スタート時刻30分前には大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻10分前には必ずティインググラウンド周辺で待機すること。
4. 手引きカートの使用を認める。ラウンド中の取り扱いには十分に注意すること。また、交通の妨げになるような場所やバック置き場およびキャディーマスター室周辺に放置しないこと。
5. プレーは迅速に行わねばならない。特に先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーの不当な遅延は、規則6条7により罰せられることがある。
6. 原則として18ホールラウンドスルー。ただし、9ホール終了後、競技者はプレーの遅延にならない限りクラブハウス内に立ち入ることができる。
7. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分注意すること。これを怠ると、ゴルフ規則8により罰せられることがある。
8. 練習は指定練習場にて行うこと。なお、打球練習場は1人24球を限度とする。
9. コース内のパター練習場は16時30分まで使用可能とする。
10. コース内への携帯電話など通信機器の持ち込みは禁止する。
11. コース内の茶店は利用できない。
12. フォアキャディーが使用する旗についての意味
白旗：インバウンズまたは先行組がいないのでプレー可
赤旗：先行組がいるのでプレー不可
青旗：OBまたは紛失の恐れがあり、判断できない場合